

天神だより

発行：社会福祉法人 天神会
〒714-0044 岡山県笠岡市神島 3626-7
TEL.0865-67-4111 (代)
<http://www.tenjinkai.org/>

2017年4月20日発行

春号

No.79



TENJIN

理事長挨拶

新入社員の諸君へ

理事長 岡崎 利治



皆さん、入社おめでとうございます。みなさんが天神会の新しい仲間となったことを、心より歓迎いたします。今、皆さんの胸の中には、今日から新しいスタートを切る喜び、緊張、不安、さまざまな思いが入り混じっていることでしょう。皆さんにはこの時期を大切に、挑戦し続けてもらいたいと思います。

挑戦するにも様々なテーマがあり、中でも仕事は、生涯挑戦する重要なメインテーマになると思います。このメインテーマに精一杯挑戦できなければ、人生は満足できないものになると思います。ぜひ新入社員の時期に多くの方から学び、自分を磨き頑張ってください。

さて、わが法人は創立38年目を迎え、社会福祉法人としての使命を果たすべく新しい事業の

展開を進めているところです。

間もなくオープンする就労継続支援B型Apple、来年の3月完成予定のサービス付高齢者住宅と、地域福祉の拠点天神会として、皆さまに安心して生活して頂ける仕組みを構築しているところです。2017年度中期経営計画理事長方針の中に、今後3年間職員がベクトルを合せ進んでいくべき道を示しました。私たちは、それぞれの分野で専門性を磨き、熱意と高い社会的使命感をもって、仕事に取り組みたいと思います。

昨今、日本人の自己肯定感の低さが取り沙汰されています。それは若者だけでなく、人生経験豊富であっても、思わぬ困難に直面すると、もろく崩れてしまいがちなのが「自信」です。その逆に、自信が過信へと変わり、失敗してしまうケースもあります。大切なことは、何があっても自分自身の可能性を信じ、謙虚に挑戦の志を絶やさないことです。困難に立ち向かい、心を開き誠実に行動すれば、将来、法人になくはない人財となることはもちろん、その行動自体がそれぞれの財産となっていくことは間違いありません。今日より一緒に頑張ります。



う。それが私からのメッセージです。本日は、おめでとうございます。

4月3日、今年度入社式が、真新しいApple Hallにて執り行われ、理事長はじめ、法人役員からお祝いのメッセージが贈られました。新入社員代表、西江眞輝さんは、三天神会の一員に加わることは光栄であり、社会人としての責任の重さを感じている。これからの毎日を、大きな誇りをもって働くことができ、法人に入社できたことの幸せを噛みしめ、おおいに勤労意欲を燃やして法人発展のために全力を尽くしたい。」と決意を述べました。



平成28年度後期の部、介護職員初任者研修終了式が、3月30日に開催されました。このしま介護老人保健施設渡邊施設長代理から修了証が授与され、「この資格にとどまらず、今後更にステップアップして行ってください。」と受講者へ激励のメッセージが贈られました。



オープン



平成29年5月、『みんなが集える場所』をコンセプトに、就労継続支援B型Appleが開設いたします。

就労継続支援B型Appleは、Cafe(カフェ)、Farm(ファーム)、Garden(ガーデン)の三部門を通し、障害のある方々(利用者)と、スタッフで、地域の方々とともに活動していきます。

まず、Cafe部門では、どなたでもご利用いただけるパンを主としたカフェの運営をします。ゆっくりとおくつろぎいただけるよう、おいしいパンと飲み物を販売しております。窓からも庭園が望めます。

Farm(ファーム)部門では、ビニールハウスの中で野菜を栽培し、サラダやスムージーとして使用する新鮮な野菜を、Cafe部門へ提供します。



Apple Farm

ます。設備は、車いすの方でも農業ができるよう高床式砂栽培になっています。

Garden(ガーデン)部門では、カフェの庭園、清掃・環境整備を行います。庭園には四季折々の植物が生育し、カフェの解放感のある窓ガラスから、暑さ、寒さなど天候を気にせず、ゆっくりと風景を楽しめる造りになっています。

その中で利用者の方々の得意なことを見つけ、仕事をするうえで必要な知識を学んでいただき、楽しくやりがいを持って働いていただけるよう支援していきます。その後のステップアップもフォローしていきます。

私は、平成18年10月より、井笠地域の3市2町より、相談支援事業の委託を受け、井笠圏域障害者相談支援センターにて10年間、相談支援専門員として活動しています。

特集

「就労継続支援B型 Apple」

就労継続支援B型 Apple 管理者兼サービス管理責任者 梅木 一成

をしておりました。

業務内容としては、在宅で生活されている主に身体に障害のある方々に対する相談支援業務です。様々な状況の方から相談をいただき、困りごとや希望をもとに関係機関の方々と一緒に、障害のある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、お手伝いをさせていただきました。

業務にあたるなか井笠地域の課題として、肢体不自由な身体障害者の方が働ける場所が少ないという問題がありました。

社会の中で果たすべき役割や、活躍の場、居場所などの環境が十分には無いという現状なのです。働ける能力があるにも関わらず選択肢もなく、介護施設やリハビリに通い、就労はできないとあきらめてしまっている方や、行き場もなく自宅で過ごしている方も多くいます。

その背景として、身体障害者の利用できる、就労継続支援A型、B型がほとんどないという点や、平成25年4月から障害者の法定雇用率が引き上げられたものの、企業側の意識の問題や身体状況により、職場復帰や再就職などに大きな制約があることが挙げられます。同時に、障害者の就労の機会が拡大、関心が高まる一方、身体障害者の状況が取り残されているとの危機感を持っております。これらのことから、精神障害、知的障害の方と同様に、身体障害のある方も一緒に、仕事への誇りや働く喜びを感じられる場、地域の方々が、集えるコミュニケーションの場が必要であることが

ら、就労継続支援B型Appleの事業の計画に至りました。

障害のある方が、住み慣れた地域社会で孤立せず、「その人らしく」自立した、生きがいのある生活をし、地域住民と共に参加できるまちづくりに貢献するために、また、Appleを訪れた方の人生が『豊かに実るように』事業展開していく所存です。



Apple スタッフ



互助会会長 仁科 忠志

今年も、職員の健康増進と職員同士の親睦を目的に、2月に福山コロナワールドの協力をいただき、子供自由参加のボウリング大会を開催しました。

100名近い方に参加いただき、盛大に行うことができました。

多くの景品も用意し、開始前は緊張気味だった参加者が、帰る時には皆さん笑顔で帰っていかれる姿には、互助会委員一同達成感をおぼえ、今年度も楽しめる企画を計画していきたいと考えています。



地域連携部会部長 大津 澄子

平成29年2月4日 朝、9時より有志31人で、県道神島外港線1kmと、市道神島外浦線300mの清掃活動を行いました。

普段通り過ぎている道路のゴミ収集、草取りを行うことで、清々しい気持ち良い時間を過ごせました。

本年度の「おかやまアダプト」推進事業活動はこれにて終了です。

皆様のご協力ありがとうございました。



第2回 改善報告会が 開かれました。

衛生専門部会 副部会長

石田 忠正

法人では一昨年から「腰痛ゼロへの挑戦」をスローガンに掲げ、衛生専門部会を中心に腰痛予防に取り組んでいます。去る3月22日、第2回改善報告会が開催されました。

昨年の報告会では、抱えない介護・ノリフトの導入が中心に報告され、この度の報告会では、前回よりバラエティーに富んだ内容の報告が行われました。入浴・移乗・トイレ・立ち上がりと介護の場面も異なり、抱えない介護を行うための環境へのアプローチや介護手順の見直しなど、対策も各施設で特色のあるものとなりました。

腰痛は、予防が対策の第一歩となります。職員の意識向上や労働環境の改善など、問題は山のようにありますが、「腰痛ゼロ」に向けて改善報告会のほかにも、様々な取り組みを継続していきたいと思っています。



ボランティア活動報告

・特別養護老人ホーム天神荘

生花クラブ手伝い

山本 睦巳様、有岡 邦子様

茶房てんじん手伝い

宮澤 光乃様

国際ソロプチミスト笠岡（5名）

傾聴ボランティア

白百合の会 広藤 キシノ様

・ケアハウスこうのしま

傾聴ボランティア あじさいの会（3名）

カラオケクラブ ドレミの会（8名）

新年会

杉本 幸子様、佐藤 柳子様、広畑 美弥子様

小見山 照美様

・障害者支援施設こうのしま荘

傾聴ボランティア

猪原 有理想

・天神介護老人保健施設

傾聴ボランティア

神田 富子様 他2名

笠岡市認知症介護ボランティアの会（6名）

生花クラブボランティア

長安 栄子様

壁紙作成ボランティア

富岡保育園園児

*ご寄付をいただきました

平成29年1月 田原 知佳子様

3月 森原 厚江様／大島 悟様

4月 森山 茂子様

皆様の善意に感謝申し上げますとともに、施設のために大切にに使わせていただきます。

地域の皆様に感謝

特別養護老人ホーム天神荘

地域交流スペースに 癒しの空間



神島外浦にお住まいの小松文則様は、アクアリストとして多くの熱帯魚を趣味で育成されており、昨年の夏、天神荘に癒しの空間を提供してくださいまし

た。大きな水槽には、美しい水草がゆらめき、熱帯魚が気持ちよく泳いでいます。美しい水槽は、天神荘の入居者様のみならず、他施設の入所者の方の目も楽しませてくれ、一日に何人もの方がおとずれています。こうした地域の皆様の真心に包まれ、天神会はこれから皆様にお応えできる施設として頑張つてまいります。



春風の心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
天神会にもこの春、新たな風が吹きます。本号でも紹介させて頂きました「Apple」が5月に開所します。多くの方にご愛顧して頂けるよう、また、新たな地域のコミュニティの場になれるよう職員同、力を合わせて邁進していきたいと思

こつこのしま荘障害者相談支援センター

竹内 恒夫



編集後記

Q3

平成29年5月に天神会で新たに開設する事業所の名前は？

- ① Banana ② Apple
③ Tomato

大島 牧子様
河上 行夫様
森 富幸様
三村 千恵子様
森山 茂子様

Q2

4月29日は国民の祝日です。では、何の日でしょう？

- ① 大正の日 ② 昭和の日
③ 平成の日

新春号のクイズ 当選者発表

新春号クイズの答え ①、②、①

Q1

春の野草の代表的なもののひとつとしてツクシがあります。このツクシを漢字で書くと次のうちどれですか？

- ① 雨筆 ② 砂筆 ③ 土筆

※応募締め切り：5月末日
各施設に応募用紙と応募箱を設置します。正解者の中より抽選にて5名の方に素敵な賞品をご用意しています。当選者は次回発行の誌面にて発表させていただきます。
ふるって応募ください！



クイズに答えて 素敵な賞品をゲットしよう！